



いしかわの道 THE ROADS OF ISHIKAWA 2024



石川県土木部道路建設課 石川のかやく未来を支えるみちづくり

石川県のプロフィール

位置と地勢 石川県は本州のほぼ中央に位置し、東は富山、岐阜の両県、南は福井県に接しており、地形は南北に細長く、北に向かって能登半島が日本海に突出しています。

石川県の各エリア紹介: 金沢 (KANAZAWA)、能登 (NOTO)、加賀 (KAGA)、白山 (HAKUSAN) の特徴と観光資源。

道路現況表: 道路種別、路線別、延長、車線数、トンネル延長などの統計データ。

令和6年能登半島地震への対応

令和6年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」は東海史上未曾有の大災害となり、能登地方を中心に道路や河川、港湾などの公共土木施設が甚大な被害を受けました。

緊急復旧の状況: 被災道路の復旧作業の様子や、国・県・市町が一体となった対応の様子。

あり方1 ▶ 人との交流を盛んにする活力あるみちづくり

細長い県土の一体化による県内各地の時間距離の短縮、陸・海・空の交流拠点との連携強化。北陸新幹線開業効果を持続・発展させるために、細長い県土の一体化により、県内各地の時間距離を短縮するとともに、鉄道・港湾・空港などの交流拠点へのアクセスを強化するなど、移住・定住の促進や産業・雇用の創出を支援するみちづくりを進めます。

あり方2 ▶ 魅力ある観光資源を活かす「おもてなし」のみちづくり

観光資源としての「みちの価値」の向上。無電柱化を核とした街なみ景観の形成、無電柱化にあわせ、地域の特性と調和した景観づくりに取り組んでいます。

石川のみちづくり指針

東日本大震災の発生や道路施設の老朽化など、道路を取り巻く環境が大きく変わります。また、北陸新幹線開業効果を持続・発展させ、人々の交流を一層盛んにしていく必要があります。

幹線道路ネットワークの強化

県土をくまなく網羅する幹線道路網の形成や隣県へのアクセス強化など、人や物の交流を一層盛んにするため、幹線道路ネットワークの強化を進めます。

あり方3 ▶ 生命・生活を守る強くなやかなみちづくり

「能登・金沢・加賀」各地域を巡る回遊性の向上①。いしかわの優しい美観整備。幹線道路から、県内各地の様々な見所へと繋がる道においては、金カブを解消する見所的な道路改良や路肩の拡幅、案内標識の改善など、きめ細かな道路整備を進め、石川を訪れる方々や地域の方々の利便性・安全性の向上を図っています。

あり方4 ▶ 次世代へつなぐ持続可能なみちづくり

「能登・金沢・加賀」各地域を巡る回遊性の向上②。いしかわ里山海サイクリングルートの整備。観光誘客の新たなツールとして、本県の豊かな自然、美しい里山海の景観、観光地や農民のおもてなし等を堪能いただけるサイクリングルートの整備に取り組んでいます。

あり方5 ▶ 豊かな暮らしを支える快適なみちづくり

「能登・金沢・加賀」各地域を巡る回遊性の向上③。いしかわの優しい美観整備。幹線道路から、県内各地の様々な見所へと繋がる道においては、金カブを解消する見所的な道路改良や路肩の拡幅、案内標識の改善など、きめ細かな道路整備を進め、石川を訪れる方々や地域の方々の利便性・安全性の向上を図っています。

あり方6 ▶ 安全・安心に暮らし、学ぶことができる環境・地域づくり

「能登・金沢・加賀」各地域を巡る回遊性の向上④。いしかわの優しい美観整備。幹線道路から、県内各地の様々な見所へと繋がる道においては、金カブを解消する見所的な道路改良や路肩の拡幅、案内標識の改善など、きめ細かな道路整備を進め、石川を訪れる方々や地域の方々の利便性・安全性の向上を図っています。

